

令和7年度 評価規準

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

江戸川区立南小岩第二小学校

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく見て、よく聞いて、受け止めよう	1	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何かすすんで考え、学習の見通しをもって自分の考えをもとうとしている。
楽しく声に出して読もう	1	・詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動ができること。 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。	・詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。

令和7年度 評価規準

一 物語の「ふしぎ」について考えよう	10	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・場面の様子や登場人物の行動を捉えながら、すすんで物語の「ふしぎ」に思うところを見つけ、学習課題にそって「ふしぎ」について考えたことを短い言葉で表し、伝え合おうとしている。
自分の気持ちに合った言葉で表そう	4	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書ける。 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にできる。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・すすんで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。
漢字の広場①	2	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解できる。	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		・すすんで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。

令和7年度 評価規準

三年生で学んだ漢字①		◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うことができる。 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
二 けっかと考察とのつながりをとらえよう	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解できる。 ◎「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えられる。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できる。	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	・すすんで、読みやすい文章のポイントについて考えることをとおして、学習課題にそって、筋道立てて文章を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

二 けっかと考察とのつながりをとらえよう	10	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ◎「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できる。	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ◎「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	・積極的に、考えとそれを支える理由や事例を捉えながら実験内容を読み取り、学習課題にそって、文章を段落相互の關係をおさえて読もうとしている。
読書の広場①	4	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できる。	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	・分類を手がかりにすすんで目的の本を見つけ、学習課題にそって読んでわかったことを記録しようとしている。

令和7年度 評価規準

言葉の広場①	2	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 ○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		・積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
必要なじょうほうを落とさないように聞こう	3	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・積極的にメモの取り方を工夫したり、相手に質問したりしながら、学習課題にそって必要な情報について積極的に聞き、自分の考えをもとうとしている。
三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう	10	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。 ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。	◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	・積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

令和7年度 評価規準

相手やもくてきに合わせて手紙を書こう	2	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確することができる。	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・粘り強くまちがいを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしている。
言葉の文化①	4	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・すすんで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。
漢字の広場②	2	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		・すすんで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題にそって、「音を表す部分」を、漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。
都道府県名に用いる漢字	1	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うことができる。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。

令和7年度 評価規準

三年生で学んだ漢字②	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うことができる。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
四 落語を声に出して楽しむ	10	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・すすんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。
読書の広場②	1	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・すすんで読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしようとしている。

令和7年度 評価規準

五 話の組み立てを考えて発表しよう	6	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。	・粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。
六 集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう	5	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確することができる。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。
漢字の広場③	2	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。		・すすんで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を正しく使おうとしている。
三年生で学んだ漢字③	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

七 場面の様子をくらべて読み、感想をまとめよう	9	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、学習課題にそって自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。
言葉の広場②	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		・すすんで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つけたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。
八 自由に想像を広げて書こう	6	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。 ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

言葉の文化②	I	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・すすんで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関係する言葉を集めようとしている。
ひろがる言葉 つながる ひろがる	I	○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。	○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返ったり下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。

令和7年度 評価規準

一 登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう	8	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考えながら読み、根拠をはっきりさせて考えたことを伝え合おうとしている。
読書の広場③	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・すすんで、文章を読んで感じたことや考えたことをまとめ、「読書発表会」で本を紹介しようとしている。
言葉の広場③	4	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 ○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。	・すすんで、言葉には考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づこうとし、学習課題にそって、考えを伝えようとしている。

令和7年度 評価規準

二 役わりに気をつけて話し合おう	8	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	・積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。
漢字の広場④	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うことができる。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。
三年生で学んだ漢字④	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うこと。 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう	9	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・すすんで本文を読んで自分が興味をもった部分を要約し、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
言葉の広場④	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		・すすんで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。
四 調べたことをわかりやすく書こう	6	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解すること。 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。

令和7年度 評価規準

言葉の文化③	4	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
詩を読もう	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・すすんで詩を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。
漢字の広場⑤	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うことができる。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。
三年生で学んだ漢字⑤	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うこと。 ○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

令和7年度 評価規準

五 自分の経験と結びつけて考えたことを伝え合おう	6	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方辞書や事典の使い方を理解し使うことができる ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくこと	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	・積極的に筆者の考えと自分の考えを比べながら読むことをとおして、具体例な経験をもとに考えをまとめることの有効性に気づいている。
目で見る言葉で話そう	1	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	・手話には考えや思いを伝えるはたらかがあることに気づき、学習課題にそってすすんで手話であいさつをしようとしている。
六 調べてわかったことを発表しよう	8	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	・身のまわりの「便利」について調べ、わかったことを図などの資料を示しながら、言葉の調子や強弱、間のとり方に気をつけて発表しようとしている。

令和7年度 評価規準

言葉の広場⑤	2	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解しすること。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		・すすんで句読点のはたらきを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で適切に使用している。
七 伝えたいことをはっきりさせて書こう	9	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	・積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。
言葉の文化④	1	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味をすすんで知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。

令和7年度 評価規準

漢字の広場⑥	2	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。		・すすんで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で正しく使おうとしている。
三年生で学んだ漢字⑥	2	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使うこと。 ○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、お話の一場面を書こうとしている。
ハ 登場人物のせいかくや気持ちのうつり変わりを读もう	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。

令和7年度 評価規準

ひろがる言葉 これまで これから	2	○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。	○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、一年間の国語の学習を振り返ったり次学年への希望を話し合ったりしようとしている。
-----------------------------	----------	---	---	--	---